

## リビアにおける石油探鉱区への落札について

平成 17 年 10 月 3 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（本社 東京都渋谷区、社長 相岡 雅俊）は、平成 17 年 10 月 2 日、大リビア・アラブ社会主義人民ジャマールヒーヤ国（リビア）の探鉱公開入札において以下の 2 鉱区の落札に成功し、日本企業としては初めて同国の石油開発事業に進出すると共にオペレーターとして活動することとなりました。当該両鉱区に係る契約は本年 11 月上旬の調印後、正式に発効する予定であります。各鉱区の概要は以下のとおりです。

1. 81-2 鉱区（トリポリより南に約 400km の陸域西部。面積：2,708km<sup>2</sup>）
  - (1) 権益構成：当社 73%（オペレーター）、三菱商事 27%
  - (2) 義務作業：5 年の探鉱期間内に 2 次元地震探査 (500km) および 3 次元地震探査 (500km<sup>2</sup>) の実施、探鉱井 1 坑掘削
  
2. 82-3 鉱区（トリポリより南に約 400km の陸域西部。面積：2,687km<sup>2</sup>）
  - (1) 権益構成：当社 73%（オペレーター）、三菱商事 27%
  - (2) 義務作業：5 年の探鉱期間内に 2 次元地震探査 (1,200km) の実施、探鉱井 1 坑掘削

当社は今後、5 年間にこれら事業に対し総額約 55 億円の投資を予定しており、運営にあたっては当社全額出資による子会社を設立し、本事業を推進していく予定です。

当社は北アフリカ及び中南米を重点地域として海外事業を展開しており、北アフリカにおいては、現在エジプトにおいて関連会社のエジプト石油開発(株)がオペレーターとして操業している他、アルジェリアにおいても複数のプロジェクトを展開しています。当社はかねてより豊富な埋蔵量が期待されるリビアに注目し、本年 7 月にはトリポリに代表事務所を開設し今次公開入札に参加したものです。本プロジェクトは、同国との良好な関係を構築し、石油開発事業を通じて、北アフリカにおける新たな礎となり得ることから今回の参入意義は非常に大きく、今後同国における積極的な事業展開を目指して参ります。

以上

